



にじのはし

学校だより

豊かな心を持ち夢や目標に向かって自ら考え取り組む児童の育成を目指して



発行日
R6.2.14
発行者
新垣 典彦

音楽発表会



1学年:10曲以上も披露する

12月15日(金)は、授業参観(音楽発表会)を開催しました。多くの保護者やご家族、地域の皆様を迎えて子供達も程よい緊張感の中で発表会を思いっきり楽しんだようです。ご来場の皆様と盛大な拍手、心より感謝いたします。



1学年:大きなかぶ

1年生の元気な歌声と挨拶で開幕した発表会、できるようになったことを10曲以上もの曲に合わせ、ダンスや演技、演奏で披露してくれました。



2学年:心を一つにして

2学年になると、顔を上げて鍵盤ハーモニカを引いたり、カスタネットのリズム打ちも揃ってきますね。音楽の時間に学んだ「音符」についてもタイミングがばっちりでした。子供達の成長を感じます。



3学年:スマイルパワー

実は3学年、リハーササル(2日前)の日に、1クラ

スが学級閉鎖で思うような演奏・演技が出来なかつたんです。でも、その時に演奏を観ていた高学年から自然とリズム打ちの音が聞こえてきたんです。3年生の一生懸命な姿、かっこよかった。



4学年:10年分の感謝を込めて

4学年は「高学年の仲間入り」を意識させたようで、そろった歌声、はきはきしたナレーションの中での「テキーラ」は最高でしたね。個人的には「マラカス」の子達の乗りに感心していました。



5学年:友達と繋ぐ絆を表現

5年生の手拍子は、圧巻でしたね。4種類でしょうか。それから、学級で応援し合う様子も上手い表現でしたね。歌声「大切なもの」が、楽器の演奏も含めて特に感動しました。伝わりましたよ(絆)



6学年:オレらは最響

画面に入りきらないほどの楽器。6年生は、やっぱり「最響」でしたね。特に、5年生へ繋ぐ「カントリーロード」は、伴奏、声のメリハリ、リコーダー等に強いメッセージ性を感じました。



最後は、児童会役員の皆さんが挨拶をしてくれました。準備や片付けだけ見ても、主人公は、やはり子供達だと感じましたね。学年が上がるにつれて自分達で考えて動く姿に頼もしさを感じた一日でした。

交通安全ステッカー



12月22日(金)は、JA共済(嘉数会長)、県交通安全協会(與儀会長)から「立哨用のベスト」「横断旗」を頂きました。しかも、今回はゴールデンキングスとのコラボで白木社長もゴーディー君も参加し、記念に交差点まで移動して横断旗を使ってみました。下校時刻を過ぎていましたがゴーディー君を見つけた子供達はサインをお願いする場面も…。取り巻きの保護者さんも写真を撮りまくってました。私は贈呈式の写真を撮り忘れ白木社長との名刺交換でミッション完了してしまいました。

しましたが、決して「増えたらいいな」「広めてね」などと声掛けしたことは1度もありません。



「いったい誰が最初に始めたのか？」を知りたくなり子供達に話を聞くと、驚くことに**現在の中学1年生(池田遥さん)**が最初ようです。小学校5年生の頃、児童会朝会での教師の話で「挨拶の大切さ」を痛感し、自ら「挨拶運動」を決意したようです。当時の資料を見ると「県の善行賞」の写真もあり。はじめは、1人だったが、すぐに同級生、下級生に広がり、現在の4年生が引き継がれているようです。ですから今年が4年目になる。初耳の感動が多い豊崎小すごい!!

豊崎の伝統づくり②



12月のガーデンは、草花がいっぱいとなり、ここ数年には見られなかった素晴らしい景色となりました。ここでも**有志の5年生**が企画者である吉央先生を手伝う自主的活動が朝早くから見られます。

挨拶運動 第2弾



12月のカードは1か月間の貯金を示すことで毎日の挨拶の習慣をつけるねらいがありました。早速、元気な挨拶が飛びかう児童玄関でした。ちなみに第1弾は「挨拶ビンゴ」でした。



12月のカードは1か月間の貯金を示すことで

毎日の挨拶の習慣をつけるねらいが

ありました。早速、元気な挨拶が飛びかう児童玄関でした。ちなみに第1弾は「挨拶ビンゴ」でした。



ガーデンの花々

と吉央先生の思いが子供達の心を動かしたのでしょうか。「伝統の卵」を見付けたような気がします。「**伝統は、与えられるものじゃなく自分達でつくりあげるものだ**」ある中学校のOBの話思い出す。

豊崎の伝統づくり①

前回までにご紹介した「自主的な挨拶運動」年が開けても継続しててでしょうか?正解は、継続中で、挨拶運動が広まって人数が増えています。これも褒めは